

気候情報

2011年2月の日本の天候

- 北・東日本日本海側では顕著な少雪・多照だった
- 東・西日本太平洋側では降水量が多かった
- 東日本以西では気温の変動が大きく、北日本は月を通して高温だった

2月の天気概況

冬型の気圧配置が続くことがなく、1月とは一変して日本付近への寒気の流入は弱かった。特に北日本では月を通して寒気の影響が弱く、月平均気温がかなり高かった。東日本以西でも上・下旬を中心におおむね気温が高かったが、中旬前半は一時的に低くなり、変動が大きかった。天気は、北～西日本では高・低気圧が本州付近を次々に通過したため短い周期で変化した。特に中旬の西・東日本太平洋側では、本州付近を通過した複数の低気圧により、広い範囲で積雪を観測したほか、2月としては大雨になった所もあった。一方、北・東日本日本海側では日照時間がかなり多く、東日本日本海側では2月としては1946年以降で第1位の多照となった。沖縄・奄美では、中旬は前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、上・下旬は高気圧に覆われてこの時期としては晴れの日が多かった。

上旬：冬型の気圧配置は持続せず、高・低気圧が日本付近を次々に通過した。このため天気は全国的に短い周期で変化した。低気圧の発達程度や通過後に流れ込んだ寒気はいずれも弱く、4日に前線の影響により沖縄・奄美で大雨になった所があったほかは、まとまった雪や雨の降る所は少なかった。

中旬：上旬に続いて冬型の気圧配置は持続せず、本州付近を気圧の谷が次々に通過して北～西日本では短い周期で天気を変化した。旬の前半には、日本海側を中心に雪を降らせた低気圧のほかに、本州南岸を通過した2つの低気圧が西・東日本太平洋側の広い範囲に積雪をもたらす、一部で交通障害が発生した。また、後半に本州付近を発達しながら通過していった低気圧により、西・東日本太平洋側ではこの時期としては大雨になった所があった。沖縄・奄美は前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、まとまった雨が降った日もあった。

下旬：上・中旬に続いて冬型の気圧配置は持続せず、高・低気圧が日本付近を次々に通過した。25日には、サハリン付近を発達しながら通過した低気圧に向

かって南から暖かい空気が流れ込んだため、関東地方では春一番が吹いた。また、旬末には低気圧が発達しながら本州付近を通過したため、西・東日本を中心に2月としてはまとまった雨が降った。

2月の気候統計

月平均気温：全国的に高く、特に北日本ではかなり高かった。北海道では平年を2℃以上上回ったところが多かった。東日本、西日本および沖縄・奄美では、気温の変動が大きかった。

月降水量：東日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と西日本日本海側で少なかった。一方、東日本から西日本にかけての太平洋側では多く、北日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北日本から東日本にかけての日本海側でかなり多く、北日本太平洋側、西日本日本海側、および沖縄・奄美で多かった。東日本から西日本にかけての太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

2月の記録(1位更新のみ)

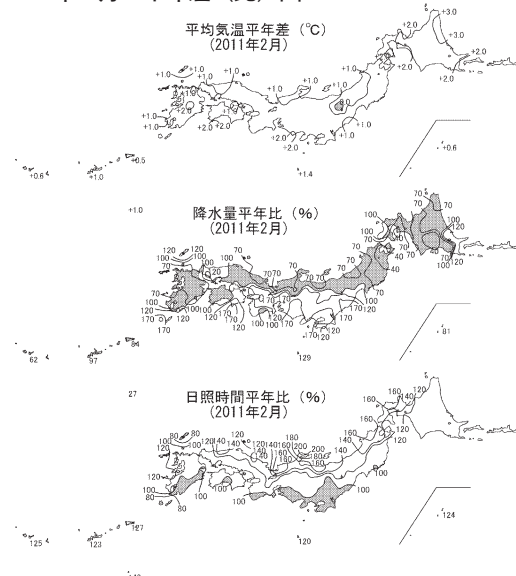
・月降水量少ない方から (mm)

留萌 31.0 高田 123.5 豊岡 100.0

・月間日照時間多い方から (時間)

深浦 87.4 輪島 121.0 福井 132.8

2011年2月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。